



研究用試薬

ヒストファイン

第一抗体

抗高分子サイトケラチンモノクローナル抗体(34βE12) (AT用)
(動物種：マウス)

包装： 50テスト(6.5mL)

Code： AT1372-1

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

- 本品は、自動染色装置ヒストステイナーAT用の試薬 第一抗体である。
- 特異性および抗原分布**：ヒト組織中のヒトケラチン1(68kDa)、5(58kDa)、10(56.5kDa)、14(50kDa)と特異的に反応する。ケラチンは分子量(MW)、等電点(pI)により分類される。正常では、扁平上皮、導管腺上皮に反応がみられる。腫瘍では、種類によって反応が異なる。皮膚、乳房、舌、子宮頸部等の扁平上皮癌、乳房や膵臓の腺管癌、皮膚の基底細胞癌、膀胱、尿管、腎臓の移行上皮癌に強く反応がみられる。卵巣嚢胞腺癌、精巣、肺、大腸の腺癌に中程度の強度で反応がみられ、胆嚢や子宮内膜の腺癌、腎細胞癌に弱い反応がみられる。肝細胞癌、小細胞癌、膵島細胞腫、巨細胞腫、平滑筋腫、神経鞘腫、紡錘細胞癌、非ホジキンリンパ腫、ホジキンリンパ腫等、単層上皮由来の腫瘍には反応がみられない。前立腺腫瘍の良性、悪性の区別に役立つ。正常前立腺および良性腫瘍では、基底細胞が陽性となる。悪性腫瘍の場合は、陰性となる。ただし、良性病変でも基底細胞の不連続性が認められることがあるので注意が必要。
- クローン名**：34βE12
- 抗体のサブクラス**：IgG1κ
- 免疫原**：ヒト角質層から抽出した可溶性ケラチン
- 製法**：ハイブリドーマの培養上清より得ている。

1. 内容

第一抗体・・・抗高分子サイトケラチンモノクローナル抗体(34βE12)(動物種：マウス)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に6.5mLを含む。

2. 使用目的

組織・細胞中のヒトケラチン/サイトケラチン1、5、10、14の染色

3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学染色および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

1) 他の試薬とともに試薬ラック(AT用)にセットし、染色を開始する。

2) 染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

4. 染色方法の設定

試薬の反応温度、反応時間を下記に設定する。

《タイプ：HRP Heat》

プロトコル名	Dewax	TR	温度(℃)	ブロッキング	試薬名	第一抗体 反応時間(分)	第一抗体 反応温度(℃)
CK(34BE12)-AT	Dewax2-AT	TRpH9-AT	101	Buffer	CK(34BE12)-AT	20	25

- 参考**：組織の固定状況等により、Dewax-2(AT用)(Code：AT1533-1)、TR-pH9(AT用)(Code：AT1534-1)を用いた熱処理の代わりに、プロテアーゼ溶液(AT用)(Code：AT1523-1)で処理することで良好な染色が得られる場合がある。(裏面参照)

5. 貯法および使用上の注意

1. 2-8℃保存。
2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。
3. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。
4. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

6. 取扱上(危険防止)の注意

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。
2. 本製品に関する安全情報は安全データシートを参照すること。
3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。
4. 本製品の廃棄の際には、各施設や地域および国のルールに従い、適切に廃棄すること。
5. 本品は、動物由来成分を含むので、取扱に注意が必要である。
6. 本品にはアジ化ナトリウムが含まれている。アジ化ナトリウムは水道管に含まれる銅、鉛との反応によって爆発の危険性があるので、多量の水とともに洗い流すこと。
7. ヒト由来の検体は、感染の恐れがあるので適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

7. 主要文献

- (1) Allen M. Gown, et al: The Journal of Cell Biology 95:414-424,1982
- (2) Allen M. Gown, et al: American Journal of Pathology 114(2):309-321,1984
- (3) Allen M. Gown, et al: American Journal of Clinical Pathology 84(4):413-424,1985
- (4) O'Malley F P, et al: Virchows Archiv A Pathol Anat 417:191-196,1990
- (5) Rajal B. Shah, et al: American Journal of Clinical Pathology 122:517-523,2004
- (6) Lakshmi P. Kunju, et al: American Journal of Clinical Pathology 125:675-681,2006
- (7) Victor Weng Leong Ng, et al: American Journal of Clinical Pathology 127:248-253,2007

■ 研究用としてのみ使用すること。

■参考：プロテアーゼ溶液(AT用)を用いる場合(おもて面の ■参考 参照)は、《タイプ：HRP Heat》から《タイプ：HRP Enz》への登録の変更と、以下の設定を行うことが必要です。弊社にて登録、設定を行いますのでご連絡ください。

《タイプ：HRP Enz》

プロトコル名	ブロッキング	試薬名	第一抗体 反応時間(分)	第一抗体 反応温度(℃)
CK(34BE12)-AT	H2O2-AT	CK(34BE12)-AT	20	25

《タイプ：HRP Enz》にて染色を行う場合、プロテアーゼ溶液(AT用)の他に、過酸化水素水(AT用)(Code：AT1524-1)をご用意ください。